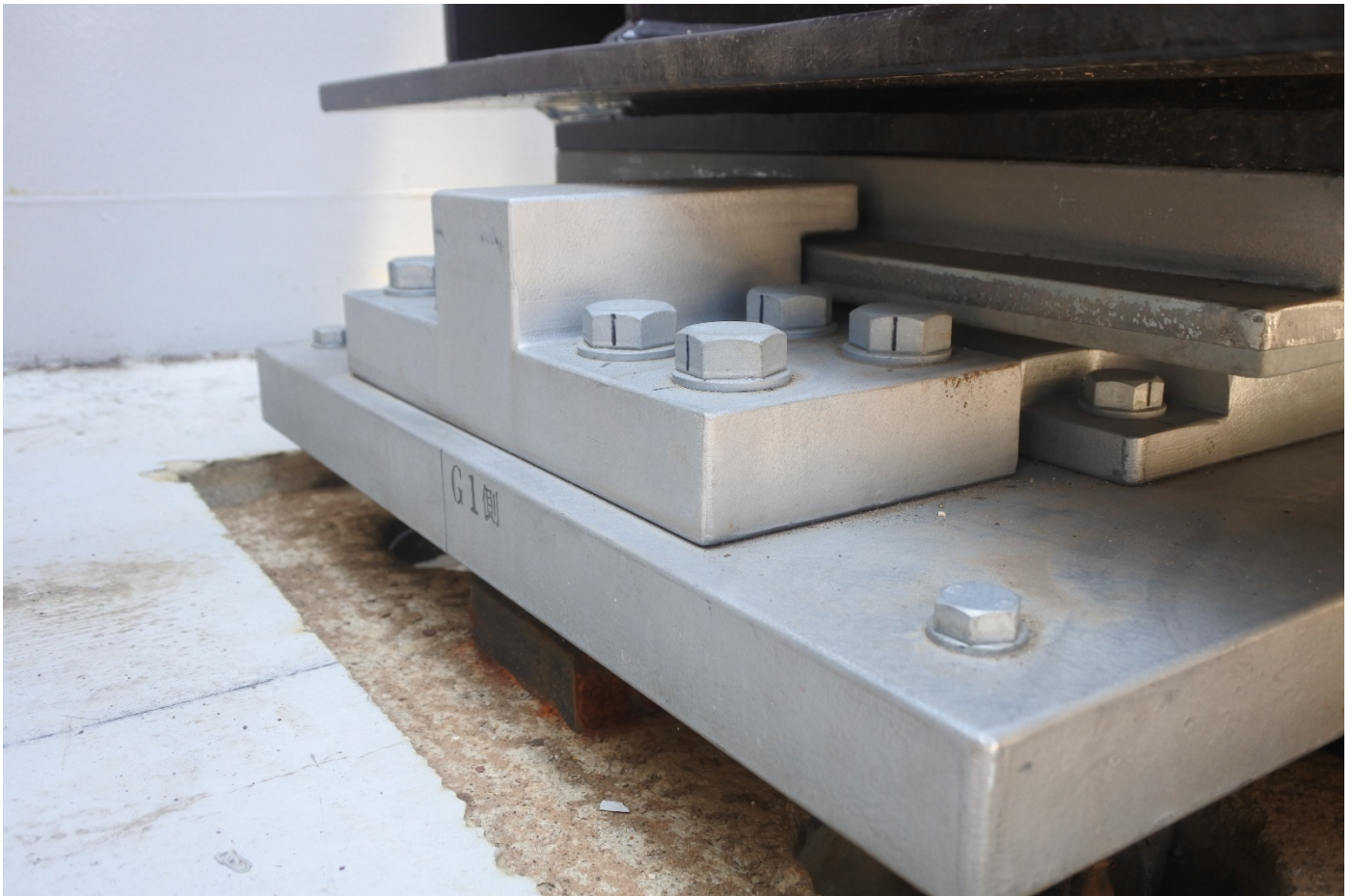


笠岡バイパス「入江大橋」の支承（ししょう）の設置を見学しました！

令和5年6月27日

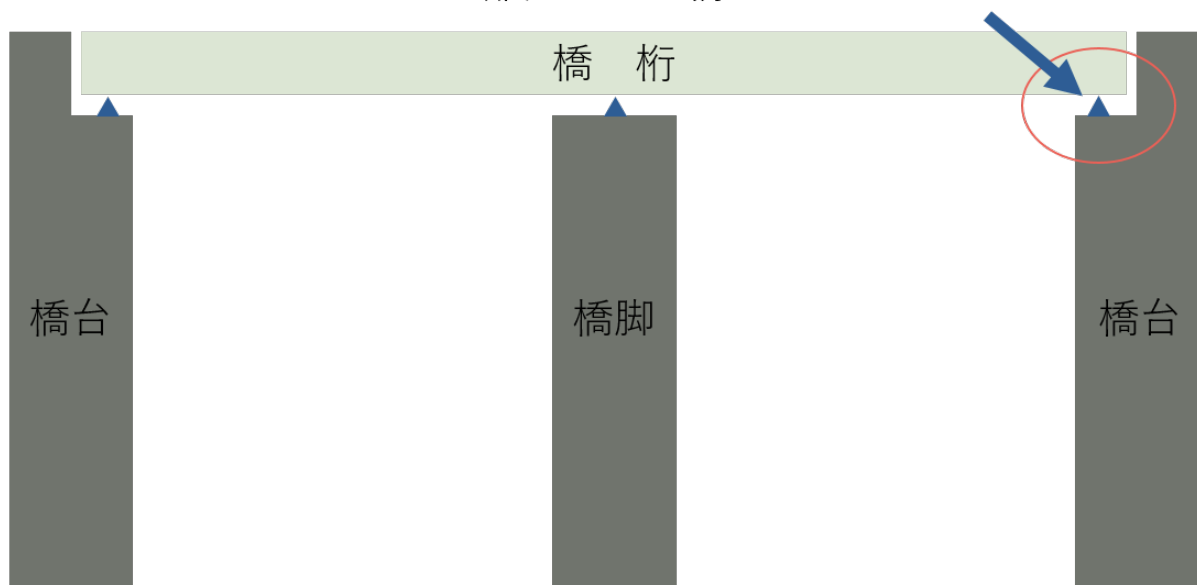


突然ですがみなさん、“**支承（ししょう）**”という言葉をご存じですか？

第3版道路用語辞典[普及版]によりますと、

「橋の上部構造を支持して荷重を下部構造に伝達される機能を有する構造」とあります。

この三角の部分にある構造のことです



上の図の三角の部分の構造をさします。

橋の上部構造（橋桁）の部分が温度変化により**伸び縮み**したり、橋を走る車の重さによって**たわむ**ため、

上部構造と下部構造（橋台）を直接連結せずに、**変形を吸収する部材**を介するものです。



実はコンクリートや鉄は熱によって 膨張・収縮 します！

地味ですが、橋の構造としてとても重要な「**縁の下の力持ち**」的な構造です。

今回は、現在工事が行われている笠岡バイパスの「入江大橋」において、この支承を設置する現場を見学しました！



Point! ミリ単位の調整！！



何箇所も設置されている支承について、ひとつひとつ、橋桁をジャッキアップして調整、ジャッキダウンして調整を繰り返していました。



シャッキアッ

シャッキアッ



まさに職人技です！！



水平を確認しているところ。

地味ですが大事な作業です。

橋はこのようにしてコツコツと作られていることを**実感**しました！



今回の現場は、高所での作業のため、**フルハーネス**を付けて見学しました。

安全に気を付けて施工を行っています。

記事作成：計画課 N、A